福岡管区気象台
Fukuoka Regional Headquarters ,JMA

お　知　ら　せ

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

令和２年 12 月 23 日
福 岡 管 区 気 象 台

2020 年の九州北部地方（山口県を含む）の天候（速報）

- 冬（2019 年 12 月～2020 年２月）は、記録的な暖冬となりました。
- 夏は、６月が記録的な高温に、７月が記録的な多雨となりました。

2020 年の天候の特徴は以下のとおりです。

〇冬は、北からの寒気の流れ込みが弱かったことから、統計開始（1946/47 年冬）以降、最も高温だった昨年（2019 年）を上回る記録的な暖冬となりました。

〇夏は、６月は暖かい空気に覆われやすく、晴れて強い日射の影響を受ける日もあったため、統計開始（1946 年）以降、最も高温となりました。７月は「令和２年７月豪雨」が発生するなど記録的な多雨となりました。

注）本資料は、12 月 20 日までの観測データをもとに速報としてまとめたものです。
なお、概況、統計値等は別紙をご覧ください。
12 月 31 日までの観測データによる資料は令和３年１月４日（月）に発表する予定です。

問合せ先：福岡管区気象台気象防災部
要因について　：地球環境・海洋課（川口）092-725-3613
観測値について：防災調査課（蛇嶋）　　092-725-3614

《季節毎の概況》

冬（2019 年 12 月～2020 年２月）は、統計開始（1946/47 年冬）以降、気温が最も高かった。

偏西風が平年より北に蛇行したため寒気の影響が弱く、統計開始以降で最も高温となった昨年の冬を上回る記録的な暖冬となった（図１）（表１）（表２）。

春（３月～５月）は、気温は高かったが、４月は寒気の影響を受けやすかったため、かなり低くなった。

３月から４月にかけて移動性高気圧に覆われやすかったため、春の日照時間がかなり多かった。また、３月と５月は南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温はかなり高くなったが、４月は寒気の影響を受けやすかったため、かなり低かった（図１）（図３）（表１）。

夏（６月～８月）は、６月が統計開始（1946 年）以降、最も高温となったほか、７月は、統計開始（1946 年）以降、最も降水量が多かった。

６月は暖かい空気に覆われやすく、晴れて強い日射の影響を受ける日もあったため、統計開始以降、最も高温となった（図１）。また、８月は平年より強い太平洋高気圧に覆われたことから統計開始以降、２番目となる高温となった。７月は「令和２年７月豪雨」の発生や記録的な長雨もあるなど降水量は、統計開始以降、最も多かったほか、気温は低くなった（図１）（図２）（表１）。

秋（９月～11 月）は、後半を中心に移動性高気圧に覆われやすかったことから、日照時間は多かった。

９月は台風や前線及び湿った空気の影響で降水量は多く、日照時間は少なかった。10 月以降は移動性高気圧に覆われやすかったため、日照時間は多かった（図２）（図３）（表１）。

12 月（12 月 20 日まで）は、強い寒気の影響で低温となったほか、降水量はかなり少なかった。

中旬を中心に強い寒気の影響で低温となったほか、大陸からの高気圧に覆われやすかったことから降水量はかなり少なかった（図１）（図２）（表１）。

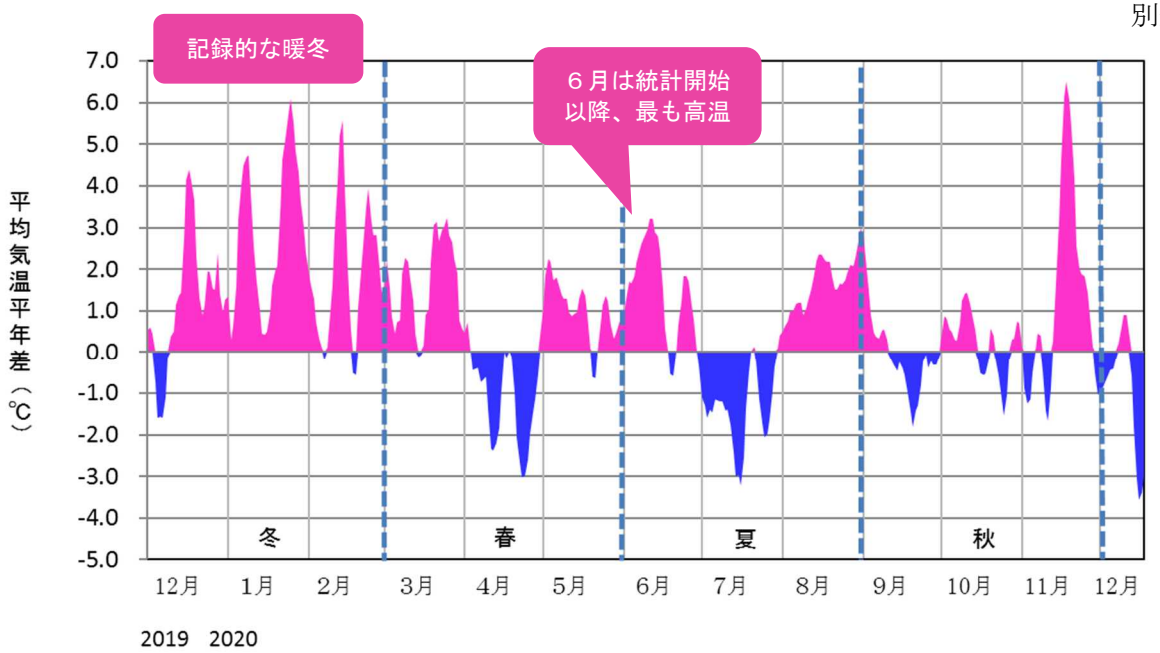

図１　九州北部地方（山口県を含む）の平均気温の地域平均平年差（５日移動平均）

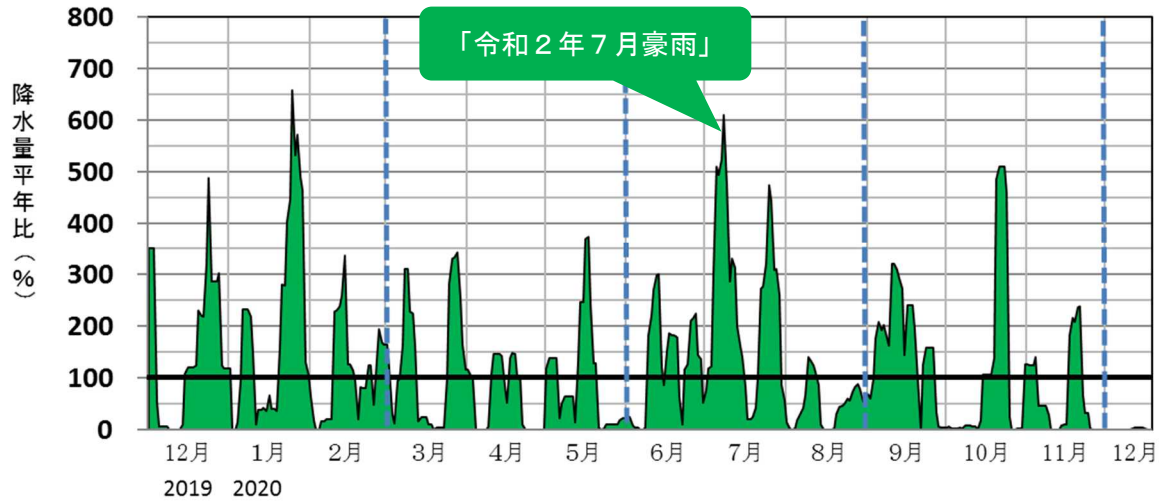

図２　九州北部地方（山口県を含む）の降水量の地域平均平年比（５日移動平均）

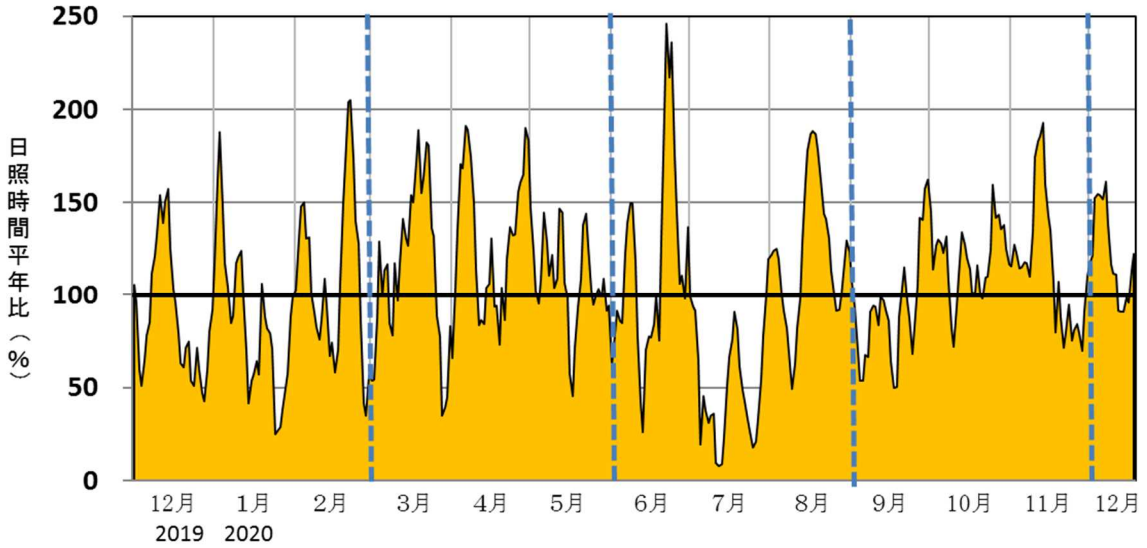

図３　九州北部地方（山口県を含む）の日照時間の地域平均平年比（５日移動平均）

表１　九州北部地方（山口県を含む）の平均気温・降水量・日照時間の地域平均平年差（比）

	平均気温平年差（℃）	降水量平年比（%）	日照時間平年比(%)
2019 年 12 月	かなり高い（+1.4）	かなり多い（182）	かなり少ない（ 82）
2020 年１月	**かなり高い（+2.9）**	かなり多い（198）	少ない（ 87）
２月	高　い（+2.0）	多　い（125）	多　い（113）
冬（12 月～２月）※	**かなり高い（+2.1）**	かなり多い（167）	少ない（ 95）
３月	かなり高い（+1.7）	多　い（114）	多　い（113）
４月	かなり低い（−1.2）	少ない（ 64）	かなり多い（130）
５月	かなり高い（+1.1）	平年並（103）	平年並（108）
春（３月～５月）	高　い（+0.6）	平年並（ 94）	かなり多い（117）
６月	**かなり高い（+1.5）**	多　い（136）	平年並（112）
７月	かなり低い（−1.4）	**かなり多い（254）**	かなり少ない（ 53）
８月	かなり高い（+1.6）	少ない（ 49）	多　い（121）
夏（６月～８月）	高　い（+0.6）	かなり多い（162）	平年並（ 96）
９月	平年並（　0.0）	多　い（159）	少ない（ 90）
10 月	平年並（+0.2）	平年並（ 90）	多　い（120）
11 月	高　い（+1.3）	少ない（ 63）	多　い（112）
秋（９月～11 月）	平年並（+0.5）	多　い（122）	多　い（108）
12 月（20 日まで）	低　い（−1.0）	かなり少ない（　1）	かなり多い　（127）
年（１月１日～12 月 20 日）	高　い（+0.7）	かなり多い（132）	かなり多い　（107）

平年値は 1981～2010 年の平均

※冬は 2019 年 12 月から 2020 年２月までの期間

（注１）　地域平均平年差（比）は、いつもの年（平年）と比べてどのくらい暖かい（多い）・寒いか（少ない）を地域全体でみるもので、九州北部地方（山口県を含む）の統計期間が 50 年以上ある観測所（表３参照）における平年差（比）を平均して算出。朱書は統計開始（1946 年）以降、極値を更新したことを示す。

表２　季節（３か月）の極値更新（九州北部地方平均）

要素	値（単位）	季節	これまでの極値（単位）（年）
平均気温の地域平均平年差の高い方から	+2.1（℃）	冬（2019 年 12 月～2020 年２月）	+1.4（℃）2019

平年値は 1981～2010 年の平均

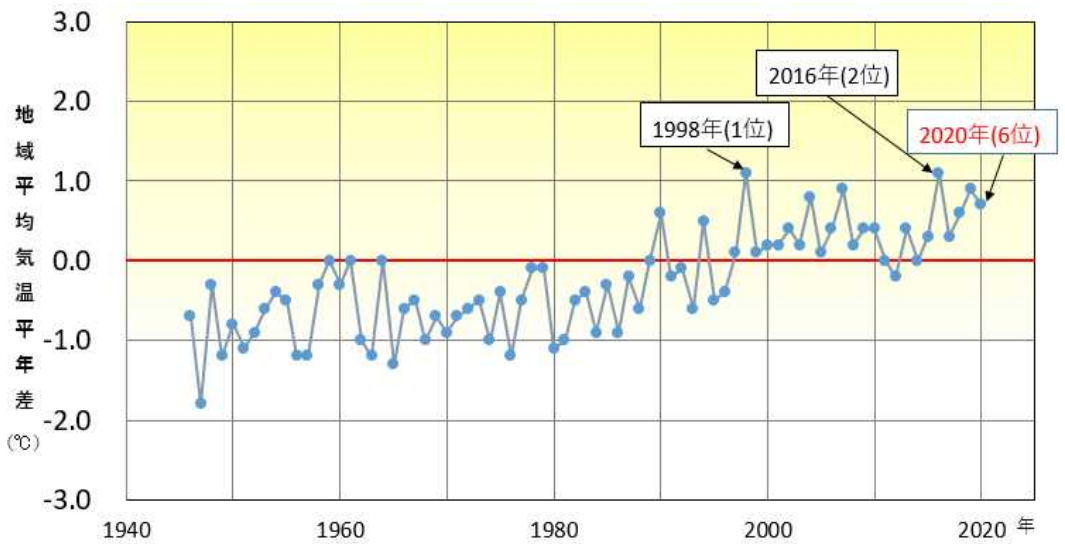

図４　九州北部地方（山口県を含む）の年平均気温の地域平均平年差　1946 年～2020 年
2020 年は 12 月 20 日までの速報値

表３　各地点の 2020 年の年平均気温・年降水量・年間日照時間（12 月 20 日まで）

地点名	平均気温（℃）	平年差（℃）	降水量（mm）	平年比（%）	日照時間（h）	平年比（%）
山口	16.5	＋0.8	2242.5	120	1957.0	109
下関	17.7	＋0.7	1912.5	115	1976.8	107
萩	16.6	＋0.8	1813.5	111	1851.2	109
福岡	18.2	＋0.9	2170.0	136	2002.8	109
飯塚	16.8	＋0.8	2020.0	115	1954.0	109
佐賀	17.9	＋1.1	2846.0	153	2051.7	107
長崎	18.0	＋0.5	2668.5	145	1940.4	106
厳原	16.7	＋0.6	2901.5	131	1879.1	104
平戸	17.1	＋0.7	3032.0	145	1887.5	108
佐世保	18.0	＋0.7	2761.0	143	2023.2	108
雲仙岳	13.6	＋0.5	4097.5	143	1553.0	110
福江	17.7	＋0.6	3123.0	135	1803.8	104
熊本	17.9	＋0.6	2446.0	124	2078.1	106
人吉	16.6	＋0.8	3147.5	133	1844.8	103
牛深	18.8	＋0.5	3075.0	158	2019.6	106
大分	17.7	＋1.0	1840.0	112	2097.9	107
日田	16.7	＋0.9	2468.0	138	1876.4	106

平年値は 1981～2010 年の平均

（注２）　これらは１月１日から 12 月 20 日までの観測値を使った集計結果である。

（注３）　平年差（比）は同期間の日別平年値を平均・合計したものに対する差（比）である。

＜九州北部地方（山口県を含む）の梅雨の記録＞

梅雨入りは平年より６日遅かった。梅雨明けは平年より 11 日遅かった（表４）。

梅雨の時期の降水量（６月と７月の降水量の合計）の地域平均平年比は 195%とかなり多かった（表５）。

表４　2020 年の梅雨入り・梅雨明け

地域	梅雨入り	平年の梅雨入り	梅雨明け	平年の梅雨明け
九州北部地方	6月11日ごろ（遅い）	6月5日ごろ	7月 30 日ごろ（かなり遅い）	7月 19 日ごろ

（注４）　梅雨の入り・明けには平均的に５日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。

表５　九州北部地方（山口県を含む）の主な地点の梅雨の時期（６月と７月）の降水量

	地点名	降水量（mm）	平年比（%）	平年値（mm）
九州北部地方（平年比 195%）	下　関	910.0	162	561.9
	福　岡	1114.5	209	532.7
	佐　賀	1628.5	240	677.5
	長　崎	1301.5	207	629.0
	熊　本	1363.5	169	805.7
	大　分	897.0	170	526.3

平年値は1981～2010年の平均

（注５）　九州北部地方（山口県を含む）の統計期間が 50 年以上ある観測所を対象として、梅雨の時期（６～７月）の地域平均降水量を平年比（%）で示した。

＜九州北部地方（山口県を含む）に接近・上陸した台風＞（注）

2020 年の台風の発生数は、23 個（平年 25.6 個）であった（表６）。

九州北部地方への台風の接近数（注６）は３個（平年 3.2 個）で、台風第５号、台風第９号及び台風第 10 号であった（表７）（図５）。

なお、九州への台風の上陸（表８）（図５）はなかった。

表６　台風の発生数

	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	年
2020 年	—	—	—	—	**1**	**1**	—	**8**	**3**	**7**	**2**	**1**	**23**
平年値	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6

表７　九州北部地方（山口県を含む）への台風の接近数

	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	年
2020 年	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**3**	**0**	**0**	**0**	**0**	**3**
平年値	—	—	—	0.0	0.0	0.3	0.8	1.0	1.0	0.3	—	—	3.2

表８　九州への台風の上陸数

	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	年
2020 年	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**

（注６）　本表は台風の発生月別にとりまとめたもの。台風によっては発生月と接近・上陸月が違う場合があるが、ここでは示さない。

（注７）　「九州北部地方への接近」は台風の中心が九州北部地方の統計期間が 50 年以上ある地点から 300km 以内に入った場合を指す。

（注８）　「九州への上陸」は台風の中心が九州本土の海岸線に達した場合を指す。

（注９）　値が「－」となっている月は、平年値を求める統計期間内に該当する台風が１例もなかったことを示す。

（注１０）台風は 12 月 20 日までのデータ

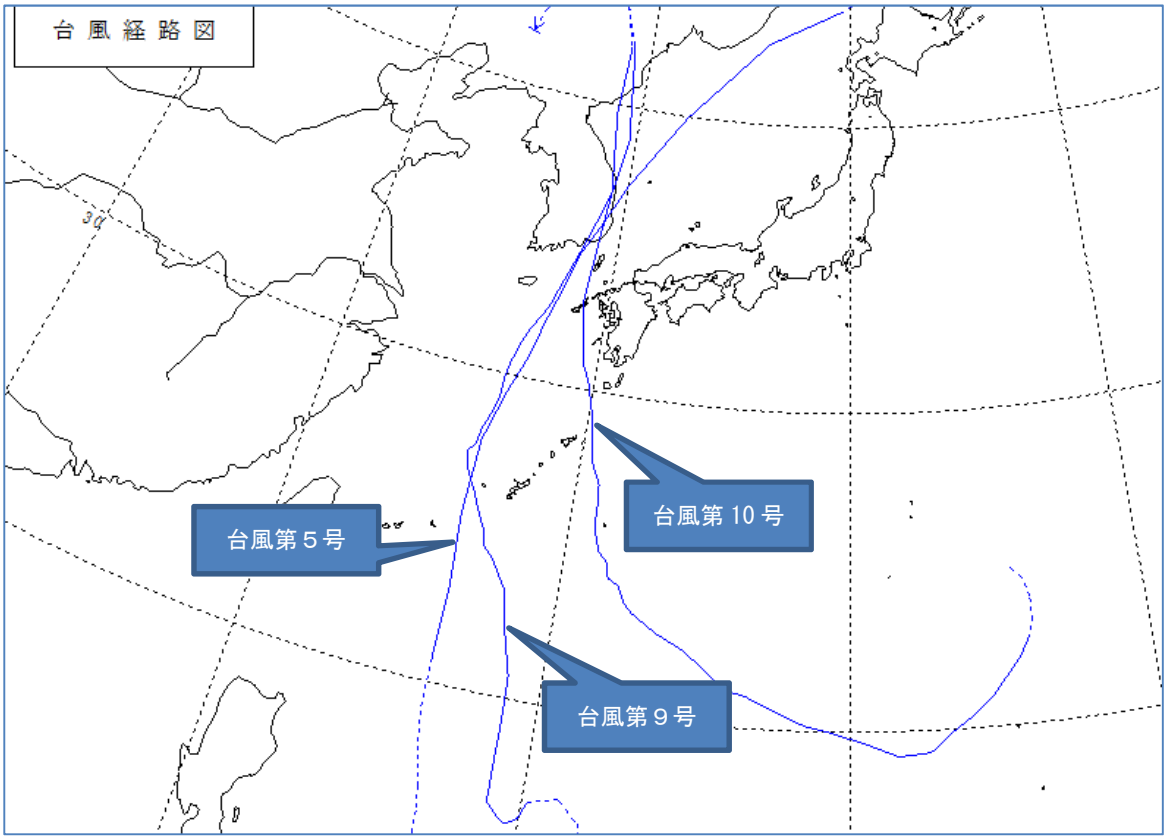

図５　九州北部地方（山口県を含む）に接近した台風経路図
実線は台風、点線は熱帯低気圧又は温帯低気圧を示す